

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	河川管理事業			会計	款	項	目	大	事	小
				01	08	03	01	02	04	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	河川課					
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課長	池田 輝昭					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	準用河川や水路周辺の市民	意図	草刈等により河川及び水路断面を確保し、治水機能を保持するとともに、水辺環境を良好に保つ。
事業内容	河川や水路の草刈業務委託、雨水管の台帳作成業務委託を行うものである。また、河川協会等が開催する講習会等に参加し、河川関連に対する知識を高めるものである。			
事業開始から現在までの状況変化	河川や水路の環境を保全するため、定期的な草刈りが必要となる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	ユスリカの苦情	6	10	14	件	↓↓↓	実績値
②	草刈要望	46	51	59	件	↓↓↓	実績値	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 防犯パトロール等により、河川への注意度が上がっているため、草刈要望数が増加傾向である。 維持管理の基礎資料である雨水台帳の作成した。 ※平成30年度3.1km		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		17,403,061	17,773,462	17,816,396				
事業費(b)(円)		9,576,961	10,121,782	10,301,516				
うち一般財源		9,576,961	10,121,782	10,301,516				
職員給与と費(c)(円)		7,826,100	7,651,680	7,514,880				
人役・職員(人)		1.14	1.14	1.14				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
				コストの削減		B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・市街地の水路、幹線排水路を重点的に草刈を行う。	③取組における課題(Check)	・毎年草刈要望箇所に対し、防草対策が必要である。 ・雨水台帳システムを改善する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	・毎年草刈を実施する箇所に対し、防草シート等の対策を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・草刈を適正時期に実施し、必要に応じ防草処理を行う。 ・雨水台帳システムの改善を行う。